

▲ ▼ 2022 ミス日本「海の日」属安紀奈さん ▼ ▲ ⑭

— 船と港、海に関わる仕事の大切さを学んだ1年 —

早いもので、私のミス日本としての現役活動も残りわずかです。私にとってこの1年は新しい学びがあるたびにもっと海が好きになるような年でした。活動を通してお会いできた海洋業界の皆様、この機関誌『海員』を通して私の活動を知って下さった皆様に心より御礼申し上げます。今月号では地元が大好きな私らしく、地元の港、徳山下松港開港100周年記念イベントを皆様にご紹介しながら1年間の振り返りたいと思います

■ 1年間の活動で得た学びをこれからも発信していきます

大好きな地元の港が100周年という記念すべき年に、ミス日本「海の日」として活動できたことは、私にとって奇跡のようなかけがえのない時間でした。

出演の際には「おかえりなさい」とお声がけいただくことが多く、いろんな人に育てていただいたと感じました。また、さまざまな運搬船を港で見かけるたびに、ここから日本のあらゆる地域や外国へと繋がっていると気づき、船や港のお仕事があつての日本であり、海の恩恵を実感しました。

海に関わるお仕事は、私たちの生活になくてはならない存在です。若い世代の海離れや、海に関わるお仕事に就く人が減っていることなど、私たちが向き合うべき課題もあります。そのため、私はこれからも、1年間の活動で得た学びをもとに、若い世代の方にもっと海や港に親しみをもってもらえるように海や港、船など海に関わる魅力を発信していきます。いつかその行動が、海洋業界全体の発展に繋がると嬉しいです。また、どこかの港で海洋業界の皆様とお会いできることを願っております。1年間誠にありがとうございました。

「海員だより」

0--0--0--0--0--0 プロフィール ☆ 属安紀奈 (さっかあきな) 0--0--0--0--0--0

山口県周南市出身。モデル。「多様性の重要性を発信したい」「地元に何か貢献できれば」と思い、ミス日本コンテストに応募。2020ミス日本コンテストではファイナリストとなるも受賞を逃し、今回、2度目の挑戦でミス日本「海の日」に輝いた。趣味はピラティスや自宅トレーニング。座右の銘は『みんなちがって、みんないい』。